

しあわせ

No.129

編集・発行：社会福祉法人西宮市社会福祉協議会

〒662-0913 西宮市染殿町8-17

西宮市総合福祉センター内

TEL:0798(34)3363 FAX:0798(35)1132

http://www.n-shakyo.jp

一人ひとりが自分らしく主体的に生きるために

福祉サービス利用者・当事者を支える社協活動

利用者・当事者の思いや立場に寄り添いながら

当事者とは
福祉課題や問題を抱えている(福祉ニーズをもつ)本人や家族のこと。現在では、当事者自身の選択、自己決定が重視されている。

今なぜ利用者支援、当事者支援が必要なのか
社会福祉のしくみは、これまでの「措置制度」から、利用者がサービス提供事業者を選び、利用者との関係が契約を行う「利用契約制度」に変わってきています。

保育所への入所や、公的介護保険制度がすでに実施されています。また、平成15年4月からは、障害者福祉分野も、契約でサービスを受ける「支援費制度」に変わります。「利用契約制度」になると、利用者はサービス事業者を自由に選ぶことができて、事業者と対等な関係で契約を結び、自分に合ったサービスを受けることができます。

利用者支援、当事者支援とは

利用者、当事者が地域社会で孤立することなく、自分らしい生活を実現できるように支援を行うものです。

「聞いてほしい」「受け止めてほしい」という利用者、当事者の思いや、願いに寄り添いながら、「自分らしく生きたい」という自己決定への支援を行っています。その基本は、本人の意思や意向に即した援助が必要となります。

西宮市社会福祉協議会(市社協)では、このような利用者支援、当事者支援として、これから紹介する活動をすすめています。

「判断能力に不安のある方も、地域で安心して暮らしていけるよう、利用者支援を行います。」

福祉サービス利用援助事業の対象は、判断能力に不安のある痴呆症や、知的障害、精神障害のある方々です。社協との契約によって、生活支援員が家庭を訪問し、利用者

の意思、意向に添いながら、福祉サービスに関する情報提供、助言、日常的な金銭管理などのお手伝いをします。

ここでは、この事業を利用することで、地域で安心して暮らされている高齢者の方の事例を紹介いたします。

「Aさん(78歳)は、子どももなく、数年前に先立たれ、一人暮らしで生活してまいりました。ある日、郵便ポストに新聞がたまっているのを不審に思った民生委員が訪問すると、Aさんは衣類などが散らばった部屋の中でうずくまっていた。事情を聞くと、「年金を引

き出しに行こうと思って子どもも通帳と印鑑を探して夫に先立たれ、一人暮らしで生活してまいりました。ある日、郵便ポストに新聞がたまっているのを不審に思った民生委員が訪問すると、Aさんは衣類などが散らばった部屋の中でうずくまっていた。事情を聞くと、「年金を引

き出しに行こうと思って子どもも通帳と印鑑を探して夫に先立たれ、一人暮らしで生活してまいりました。ある日、郵便ポストに新聞がたまっているのを不審に思った民生委員が訪問すると、Aさんは衣類などが散らばった部屋の中でうずくまっていた。事情を聞くと、「年金を引

き出しに行こうと思って子どもも通帳と印鑑を探して夫に先立たれ、一人暮らしで生活してまいりました。ある日、郵便ポストに新聞がたまっているのを不審に思った民生委員が訪問すると、Aさんは衣類などが散らばった部屋の中でうずくまっていた。事情を聞くと、「年金を引

き出しに行こうと思って子どもも通帳と印鑑を探して夫に先立たれ、一人暮らしで生活してまいりました。ある日、郵便ポストに新聞がたまっているのを不審に思った民生委員が訪問すると、Aさんは衣類などが散らばった部屋の中でうずくまっていた。事情を聞くと、「年金を引

き出しに行こうと思って子どもも通帳と印鑑を探して夫に先立たれ、一人暮らしで生活してまいりました。ある日、郵便ポストに新聞がたまっているのを不審に思った民生委員が訪問すると、Aさんは衣類などが散らばった部屋の中でうずくまっていた。事情を聞くと、「年金を引

小地域(住民)福祉活動の中で

地区ボランティアセンター

住民相互の助け合い活動の拠点として、各社協支部で設置が進められており、現在30カ所開設しています。それぞれ地域内の福祉に関する相談、情報の提供、ボランティアを必要とする人とボランティア活動をしよんとする人とを結ぶ活動などを、地域住民の手で行われています。

ふれあい昼食会

ひとり暮らしのお年よりや高齢者世帯を対象に、現在市内59カ所で開催されています。食事は、ボランティアの方々の手作り、孤独になりがちな高齢者と地域をつなぐ場となっています。



ふれあいきいきサロン

地域住民が、気軽におしゃべりしたり、手芸品や小物をつくったりしながら、楽しく集える場として、各地区で徐々に広がってきています。



子育て支援活動

少子・核家族化などによって、孤立しがちな育児家庭が増えてきます。各地域では、親子が楽しく集える場を提供し、子育て中の家庭を支える取り組みが始まっています。

これらの小地域福祉活動の詳細・お問い合わせは
地域福祉課 ☎(0798)34-3363 まで

高齢者介護者の会

同じ問題を抱える当事者同士が出会い、自分の悩みを打ち明け、そして仲間の話を聞くことで、「同じ悩みを持っている人がいるんだ」「自分は一人きりじゃないんだ」と気づき、生きる勇気や希望を得ることができ、それが、当事者の会です。

市社協では、痴呆性老人介護者の会「さくら会」と、高齢者(ねたきり)介護者の会「ひまわり会」の活動支援を行っています。

月1回の定例会では、介護の方法をアドバイスし合ったり、情報交換を行いながら、会員同士お

互いに支え合って介護を続けておられます。また、介護保険サービスを有効に活用するにあたって、介護者自身が知りたい情報を集めようとして、事業者へアンケート調査を行い、会員に情報提供したり、利用者側の意見や要望をとりまとめ、行政や事業所に届ける活動も続けています。今年度は、両会合同で在宅・施設サービスを行う市内の事業者へアンケート調査を実施する予定です。

ひまわり会 定例会 第4金曜日1:30
最終水曜日1:30

障害者生活相談・支援センター「のまネット西宮」

「このまちで一人ひとりがその人らしく、地域生活を情報とネットワークでサポート」

「のまネット西宮」は、障害者の豊かな生活と社会参加の推進に向けて総合的な生活相談支援を行うセンターとして、今年4月にオープンしました。

「のまネット西宮」は、障害者の豊かな生活と社会参加の推進に向けて総合的な生活相談支援を行うセンターとして、今年4月にオープンしました。

「のまネット西宮」は、障害者の豊かな生活と社会参加の推進に向けて総合的な生活相談支援を行うセンターとして、今年4月にオープンしました。

「のまネット西宮」は、障害者の豊かな生活と社会参加の推進に向けて総合的な生活相談支援を行うセンターとして、今年4月にオープンしました。



お問い合わせ先 総務課
☎(0798)37-0010
FAX 35-5500

《会員の種類及び会費》

区分	会費(年間:一口)
(1)個人会員 西宮市内に居住されている方	500円
(2)団体会員 西宮市内の施設、団体及び事業所	5,000円
(3)賛助会員 西宮市外に居住されている方	500円
西宮市外の施設、団体及び事業所	5,000円

社協会員を募集しています



「社協会員」とは社会福祉に理解と関心を持ち、会費を納入することで、社協の活動を支えてくださる方です。

「社協会員」とは社会福祉に理解と関心を持ち、会費を納入することで、社協の活動を支えてくださる方です。